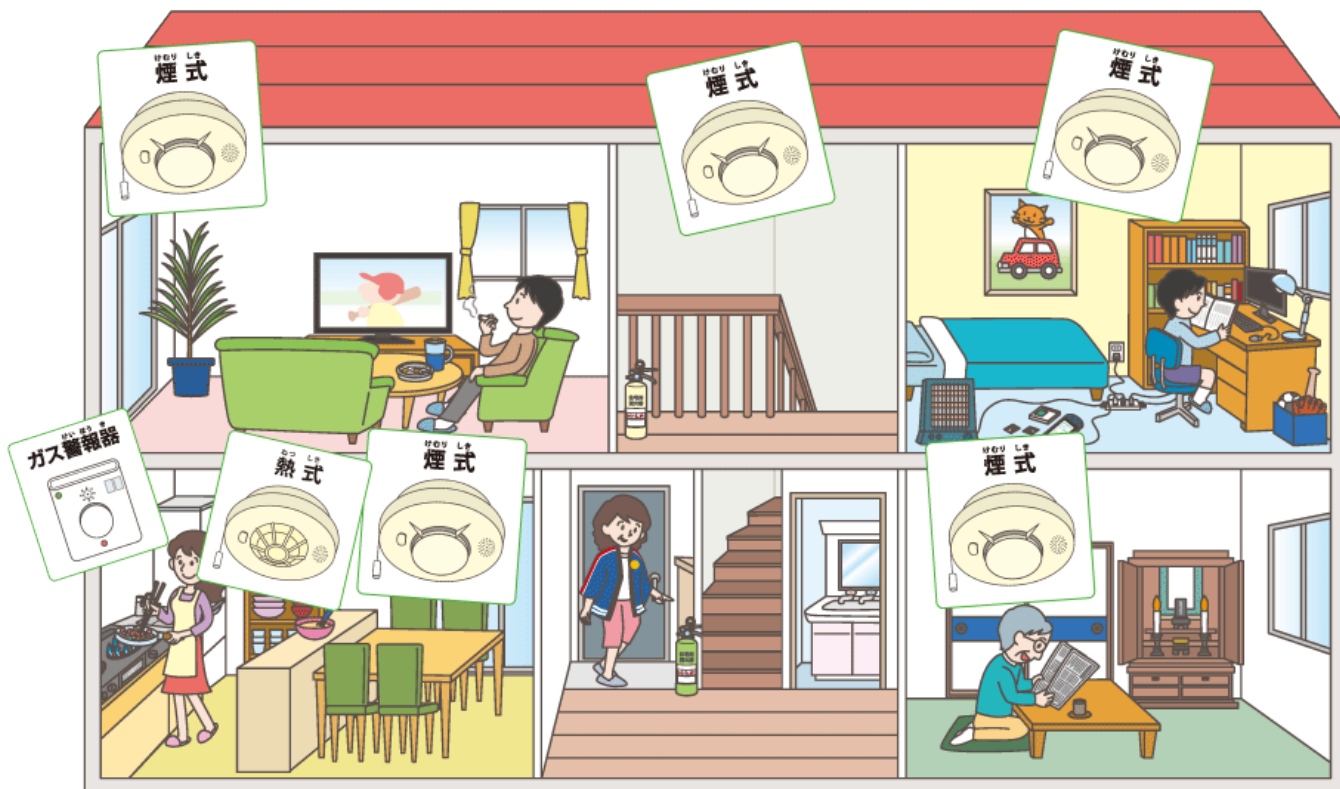




かじ いのち まる  
火事から命を守る

じゅうたく ようか さいげい ほうき  
住宅用火災警報器

# 家のどこに 取り付ければいいの？



このマグネット対応「住宅用火災警報器設置イメージパネル」は、女性防火クラブや全国の防火防災に携わる方々が、幼年少年消防クラブ員などのお子さんに「住宅用火災警報器(住警器)」設置の大切さを伝えていただき、多くの方々に日頃から設置場所や取替え時期などをご家庭で話し合い、マグネット式の住警器図を使って、遊びながら理解いただくために制作しました。

## 手順書(シナリオ案)

---

### 話し手:女性防火クラブ(消防職員等)

---

(住警器のマグネットを見せながら)

「皆さん、このような物を見たことありますか？」

(聞き手の反応を見ながら)

「これは『住宅用火災警報器』略して“住警器”と言います。

火事になったら、皆さんやおうちの人に火事になったことを、いち早く音や言葉で知らせてくれる物です。」

(住宅のパネルを見せながら)

「このパネルは、お家の代表的な部屋を表しています。

住警器を、このお家の中のどこに付けたらいいか、一緒に学びましょう。」

「まず、火事が起こると煙が発生し、炎が大きくなり、熱により温度が上がることを覚えておきましょう。」

「住警器は2つの種類があります。」



(煙式住警器マグネットを見せながら)

「これは、火災の時の煙を感じて、音や言葉で火事を知らせてくれる“煙式住宅用火災警報器”です。」



(熱式住警器マグネットを見せながら)

「これは、火事の時の熱を感じて、音や言葉で火事を知らせてくれる“熱式住宅用火災警報器”です。」

---

※ 火事の時、煙や熱は天井などの高い所にたまり、徐々に下に降りてきます。

※ 住警器は、火事を早く見つけるために、天井や壁の高い所に設置します。

※ 煙式住警器は、火事の際に熱式住警器より、早く知らせることができます。

---

「もう1種類は」



(ガス警報器マグネットを見せながら)

「これは、ガスコンロやガス管から漏れたガスを感じて、音や言葉で知らせてくれる“ガス警報器”です。」

(住宅のパネルを見せながら)



「まずは、1階のキッチンから見ていきましょう。  
お母さんがお料理にガスコンロを使っていますね。キッチンには、  
どの住警器があればいいでしょうか？」

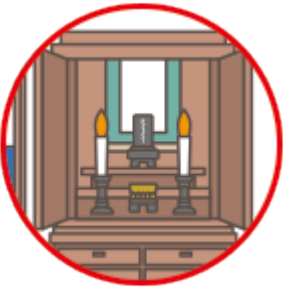
(聞き手の回答を待つ)

「キッチンで、もし火事になったら、煙や熱が出ますので、煙を感じるタイプの住警器と、熱を感じるタイプの住警器、どちらかを付け  
れば安心ですね。また、キッチンでガスコンロを使用している場合  
は、ガス警報器があれば安心ですね。」\*

---

\*お住まいの市町村の火災予防条例により設置する場所等が異なりますので、指導者は事前に確認しましょう。

- ① 寝室及び階段の天井又は壁は必須。
  - ② 居室、台所は、条例により付加される。
  - ③ 台所に設置する場合には、煙式住警器又は熱式住警器を設置する。
- 



「1階の部屋の仏壇で、ろうそくに火が点いています。この部屋に  
はどの住警器があった方がいいでしょうか？」

(聞き手の回答を待つ)

「ろうそくの火が近くの物に燃え移り、火事になるかもしれませ  
ん。この部屋には煙式の住警器を付けましょう。」



「2階の階段はどうでしょうか。1階の部屋で火事が起きた時、2階  
にいる皆さんやおうちの人に知らせる必要がありますね。どの住  
警器があった方がいいでしょうか？」

(聞き手の回答を待つ)

「煙は階段を通じて上へ広がります。上がってくる煙を感じて音  
や言葉で知らせてくれますので、階段を上った2階の天井に煙  
式の住警器を付けましょう。」



「2階の左の部屋では、お父さんがタバコを吸っていますね。この  
タバコから火事が起きるかもしれません。この部屋にはどの住警  
器があった方がいいでしょうか？」

(聞き手の回答を待つ)

「タバコの火が近くの物に燃え移り、火事になるかもしれません。」

この部屋には煙式の住警器を付けましょう。」



「2階の子供部屋では、壁のコンセントに電気ストーブやたくさんの物がつながっています。ここから火事起きるかもしれません。この部屋にはどの住警器があった方がいいのでしょうか？」

(聞き手の回答を待つ)

「電気ストーブに布団がかかったり、コンセントにたまったホコリにより火事起こるかもしれません。この部屋は煙式の住警器を付けましょう。」

「お家に帰ったら、住警器がどこに付いているか確認してみてください。もし、住警器が付いていなかったら、必ず付けるようにおうちの人に伝えてください。」



また、これらの住警器がきちんと動くか、定期的におうちの人に確認をしてもらってください。

住警器から出ているひもを引くか、ボタンを押すことで点検ができます。

住警器は、毎日『火事が起きていないか』と見守っているのです、10年を目安に取り替えた方がいいとされています。おうちの人に伝えてくださいね。」

「もしも、お家で火事が起きたら、まず周りの人に『火事だ！』と知らせましょう。そして、火から離れて煙を吸わないようにタオルなどで口と鼻をふさぎ、カラダを低くしてお家から逃げましょう。」

#### ★事前練習

- ・ 必ず声に出して練習をしておきましょう。
- ・ 自分なりに演出を工夫してみましょう(声の大きさの強弱をつけて、声色を工夫する)。
- ・ 間を取って、聞き手に考えさせる時間をつくりましょう。

以上のシナリオは、一例です。内容は話し手の皆さんで、工夫してみてください。

令和5年1月発行  
編集：一般財団法人 日本防火・防災協会  
〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルトビル14階  
電話 03-6280-6904/FAX 03-6205-7851  
URL <https://www.n-bouka.or.jp/>  
発行：日本消防検定協会  
〒182-0012 東京都調布市深大寺東町4-35-16  
電話 0422-44-7471(代表)/FAX 0422-47-3991  
URL <http://www.jfeii.or.jp/>  
パネル印刷：東京法令出版株式会社